

ホームとアウェイの勝率について

～戦いに勝つには～

市立札幌旭丘高等学校 ビビデバビデブー: 会田 湊美、青木 実乃利、阿部 匠登、佐々木 飛翔

アブストラクト(研究の概要)

スポーツの勝敗の外的要因を探るため、4種のスポーツのホーム・アウェイの勝率を考察した。
結果、ホームでの勝率が殆どのチームで高いことがわかった。

テーマ設定の理由、背景、目的等

スポーツにおいて、ホームゲームでは、勝率が高いのが普通だとおもっているが、本当なのだろうか。また、スポーツによってホーム、アウェイの影響の違いはあるのだろうかと疑問におもったことが今回のテーマ設定の理由である。

仮説

どのスポーツでもホーム戦の方が強い

理由

- 慣れているから、落ち着いて試合に望める
- 応援が多いから
- 試合前の移動が少なく、力を発揮しやすい

先行研究

トビアス・J・モスコウィッツ著
「オタクの行動経済学者、スポーツの裏側を読み解く: 今日地元チームが勝つホントの理由」

概要: なぜホームゲームの方が勝率が高いのか。遠征で疲れているから、自チームの応援が多いから。著者らが、サッカーやアメフト、野球、アイスホッケー、バスケットボールなど、過去数十年に及ぶ膨大な試合データを分析したところ、応援などがホームゲームの勝率に影響を与えているという結果は得られなかった。何が勝率を決めているのか、それは審判の「地元贔屓」だ。あらゆる判定で地元チームに有利な判定になっていた。

研究方法(手順等)

1. スポーツチームの公式サイトからオープンデータを探す。
2. それぞれの試合結果をホームゲーム・アウェイゲームに分けそれぞれエクセルに入力する
3. 勝ち、負け、引き分けに分けてホームゲームとアウェイゲームのでそれぞれ集計する
4. 3の結果を円グラフにする
5. 各スポーツ・チームの勝率の違いを見比べる
6. ホームとアウェイの違いを考察する

結果

比較したほぼ全ての競技でアウェイよりもホームのほうが勝率が高かった。

ホーム戦とアウェイ戦の相違点

HOME

- 慣れた環境
- 自分のファンが占める割合多
- 移動時間が少ない
- 知っているスタッフ

AWAY

- 慣れない環境
- 自分のファンが占める割合少
- 移動時間が長い
- 知らないスタッフ

考察

研究の時間がたりなかったため、外的要因をまとめることが出来なかったがホームとアウェイで勝率が変化したため、相違点のどれかに主だった要因があると考察できる。そしてスポーツ同士を比べると、一定時間の得点数を競う「バスケット」「アイスホッケー」は、ホーム、アウェイの影響を受けやすく、一定の得点を重ねる早さ競う「バレーボール」では、ホーム、アウェイの影響を受けにくいのではないかと。サッカーは、得点が時間に対して入りにくい特性上、ホーム、アウェイの影響をあまり受けなかったのではないかと。さらなる疑問に繋がった。

今後について

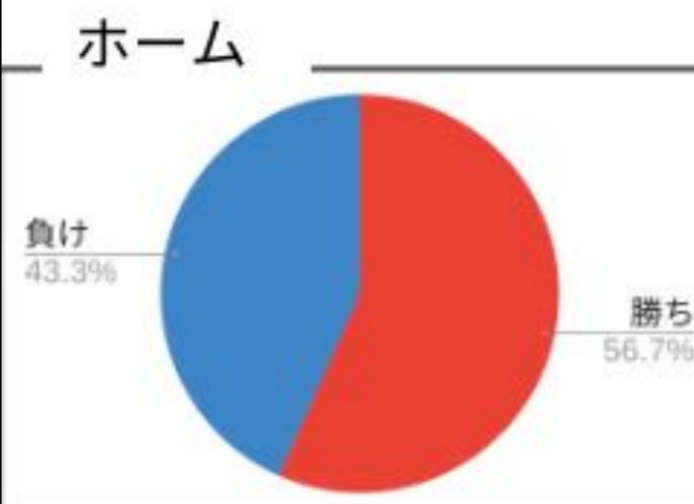
今後は、審判の判定、天候や時間などの要因を比較し最も勝率に影響するものを調べていきたい。

また今回より、多くの競技を統計分析し、ホームとアウェイの影響を受けやすい競技と受けにくい競技のどのような点が違うのか。そういったことを明らかにしていきたい。

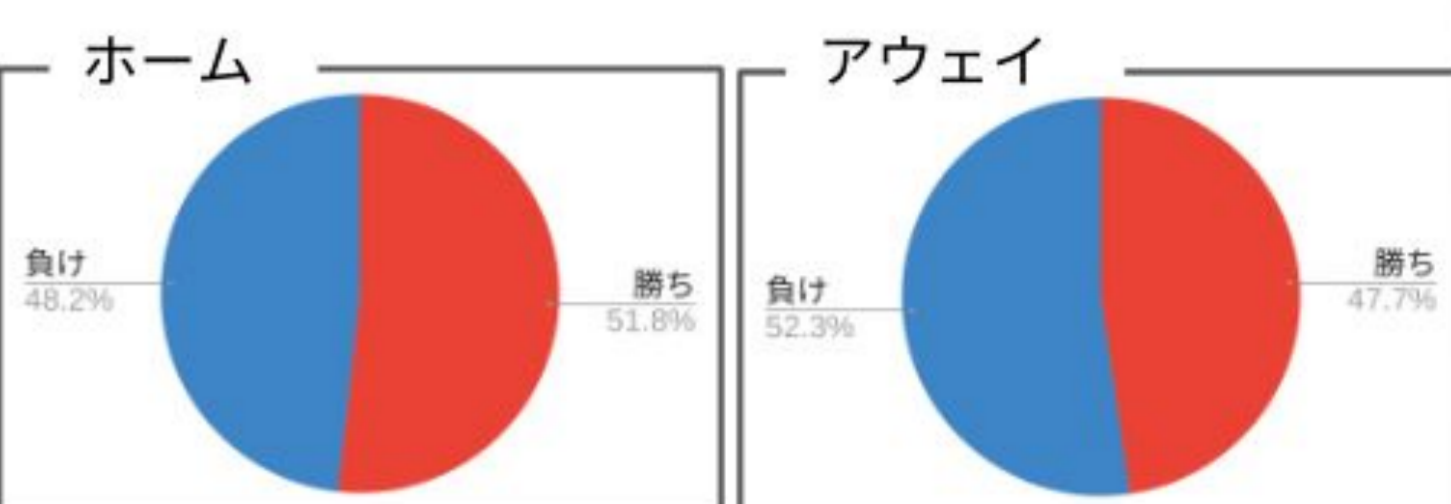
研究内容、結果

バスケットボール

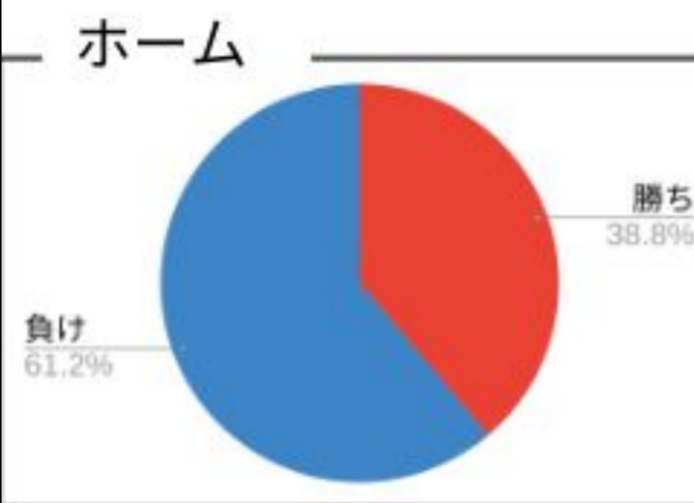
・レバンガ北海道 2019-2022 計170試合



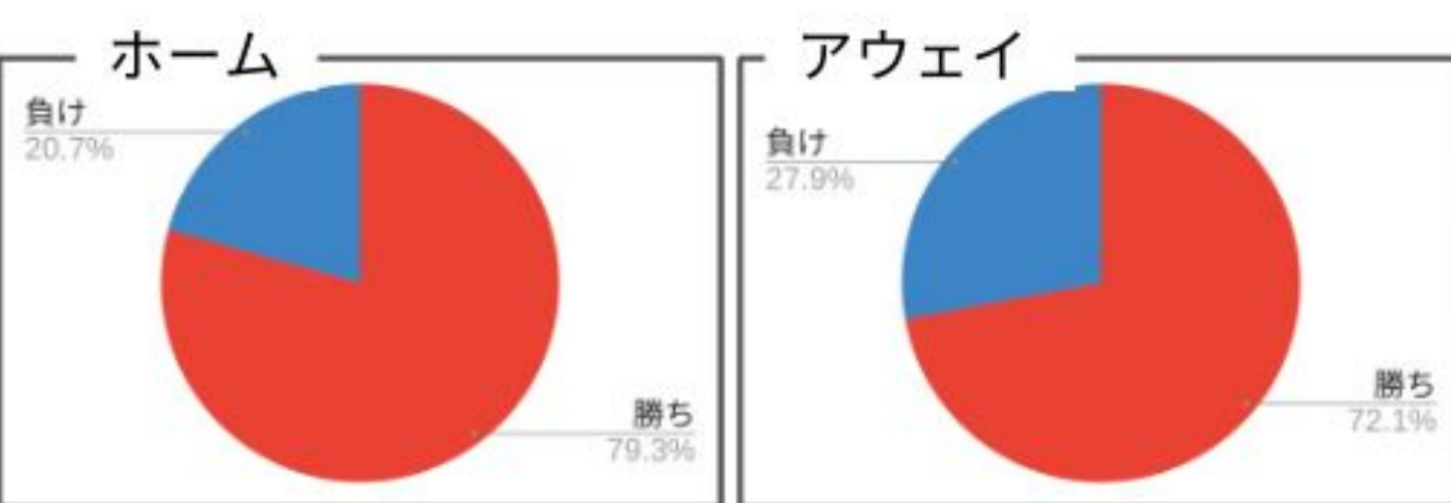
・広島ドラゴンフライズ 2019-2022 計167試合



・横浜ビー・コルセアーズ 2019-2022 計173試合

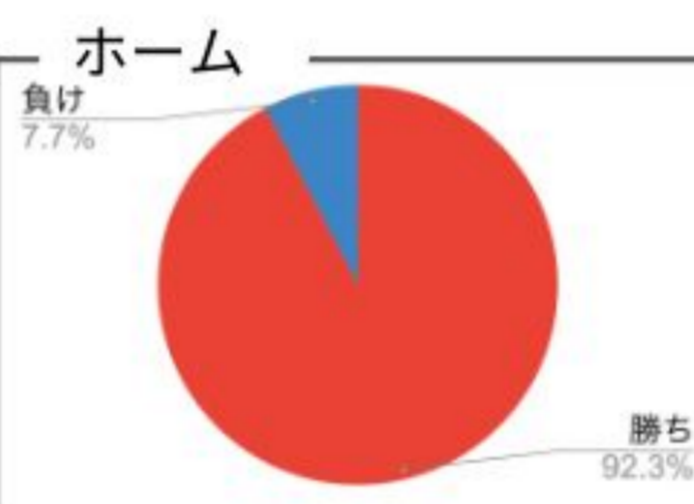


・琉球ゴールデンキングス 2019-2022 計170試合

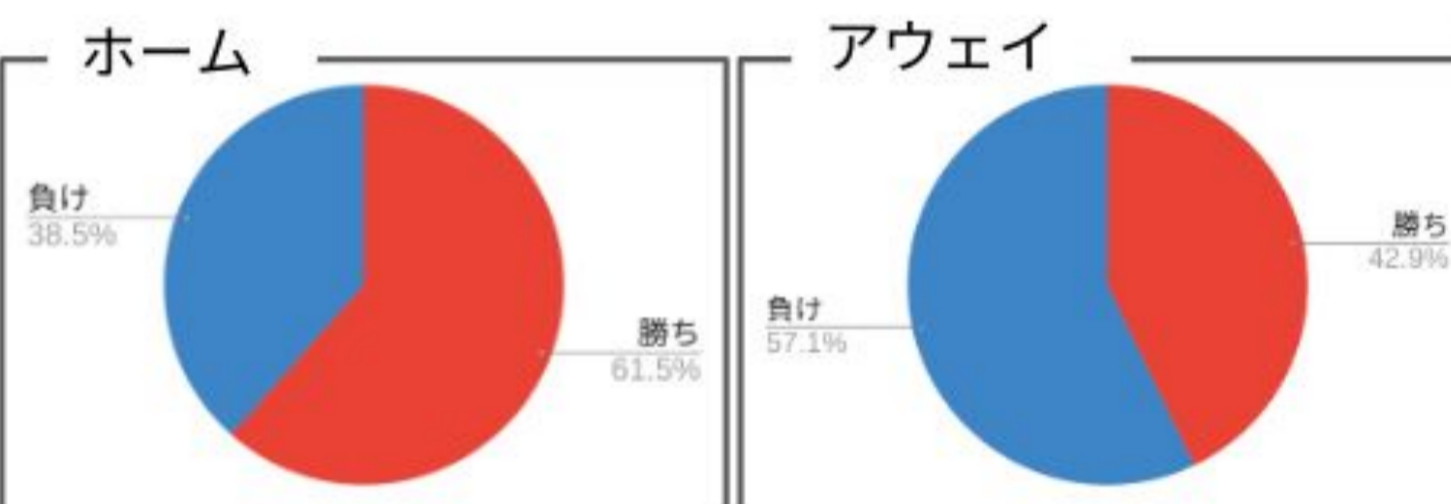


バレー

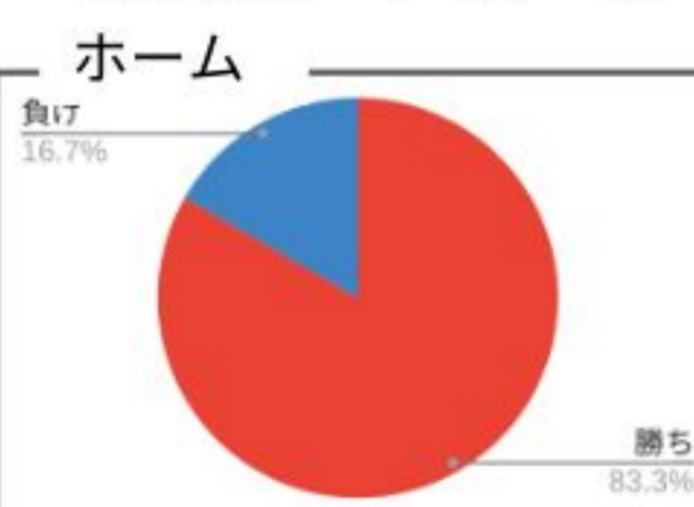
・ヴォレアス北海道 2020-2022 計73試合



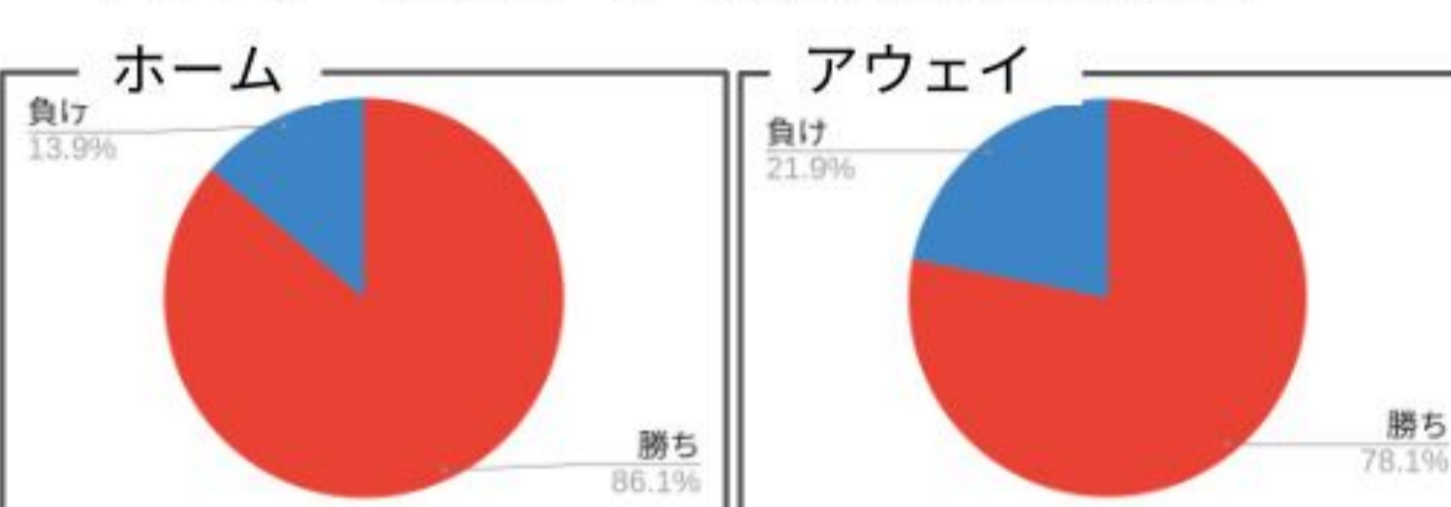
・堺ブレイザーズ 2016-2018 計76試合



・東京グレートベアーズ 2022-2023 計12試合

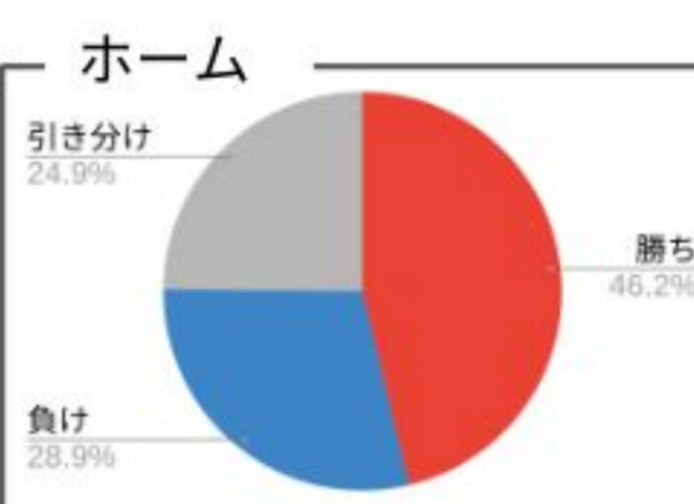


・サントリーサンバーズ 2020-2022 計68試合

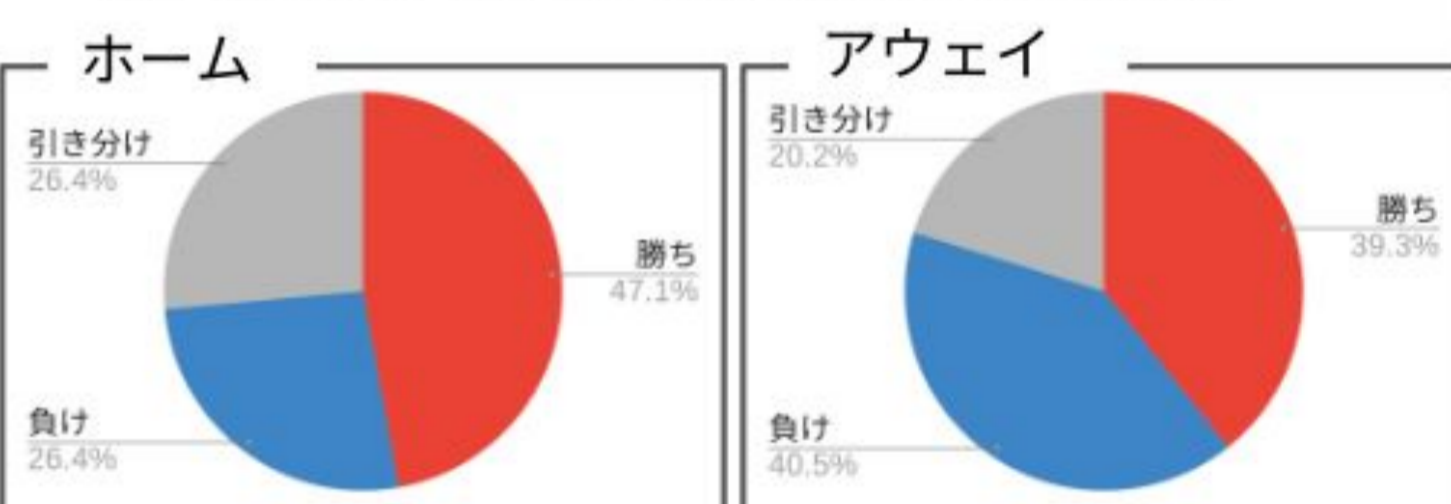


サッカー

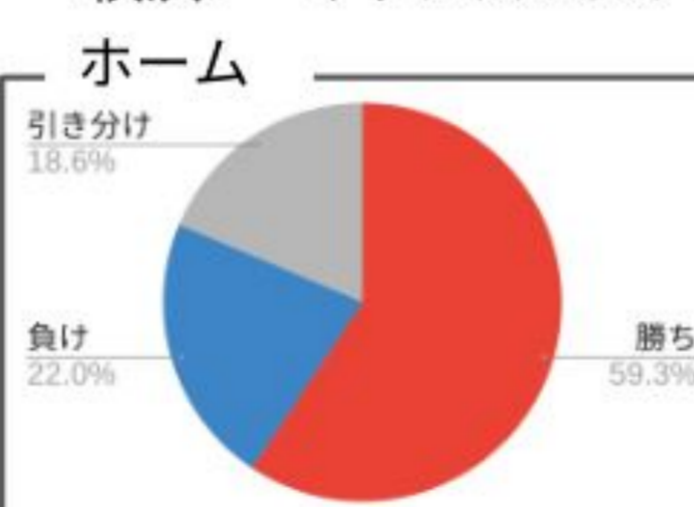
・コンサドーレ札幌 2015-2022 計342試合



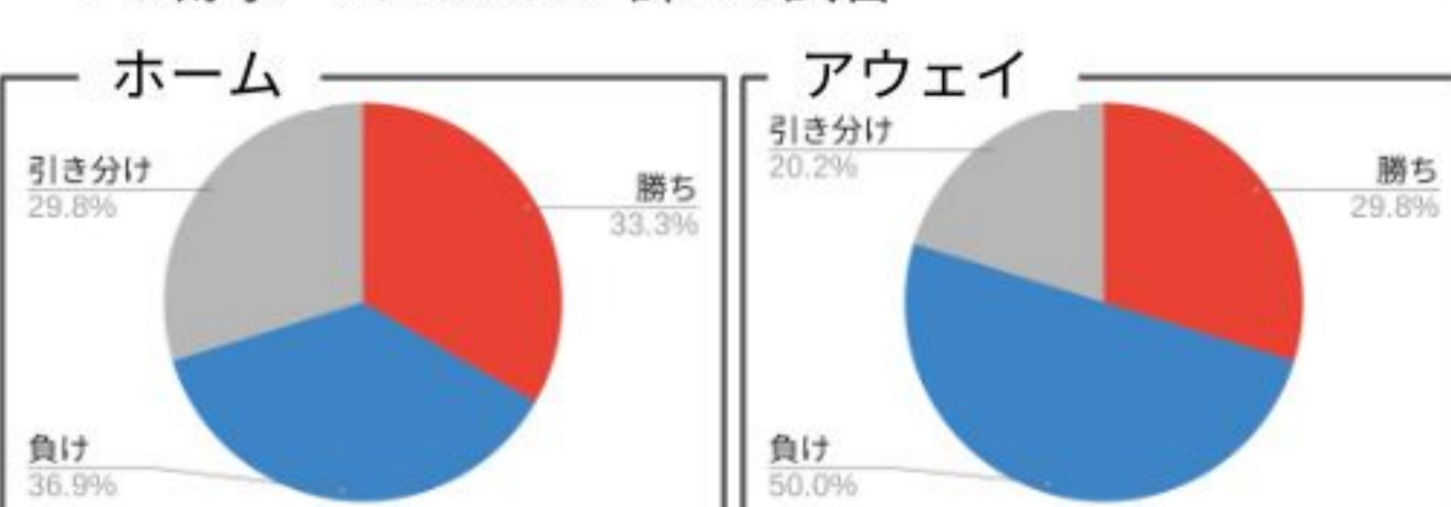
・サンフレッチェ広島 2019-2022 計171試合



・横浜F・マリノス 2019-2022 計145試合

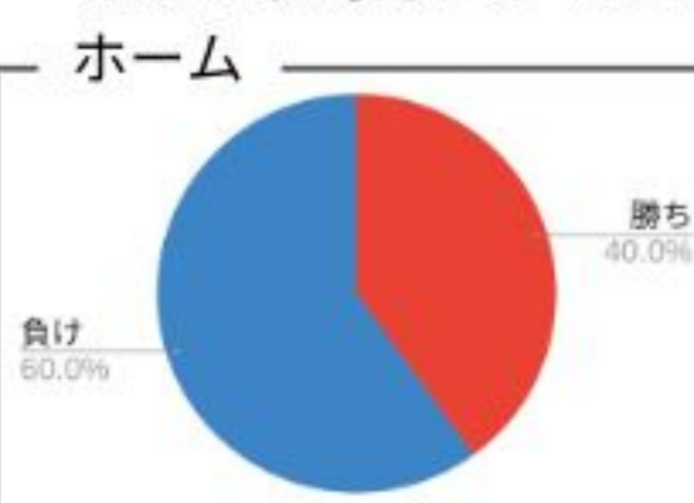


・FC琉球 2019-2022 計178試合

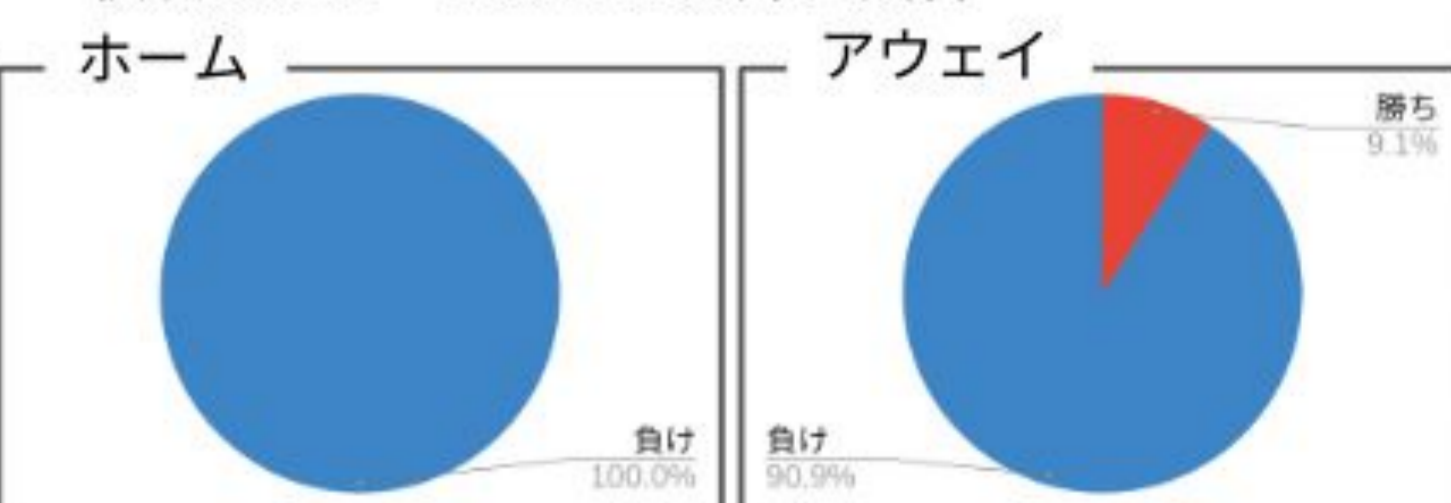


アイスホッケー

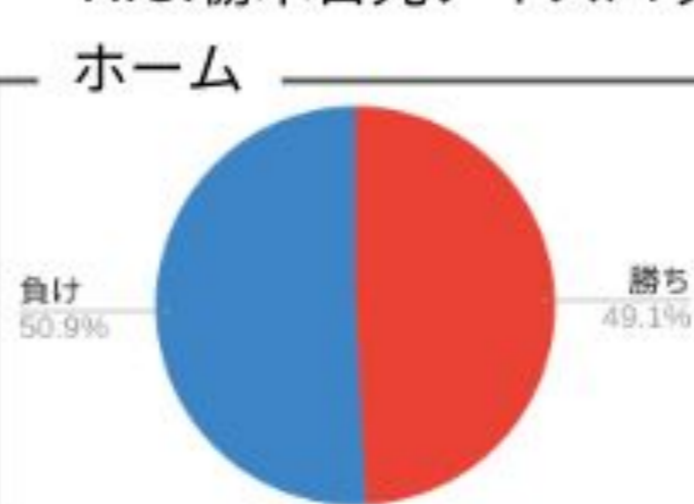
・ひがし北海道クレインズ 2018-2022 計116試合



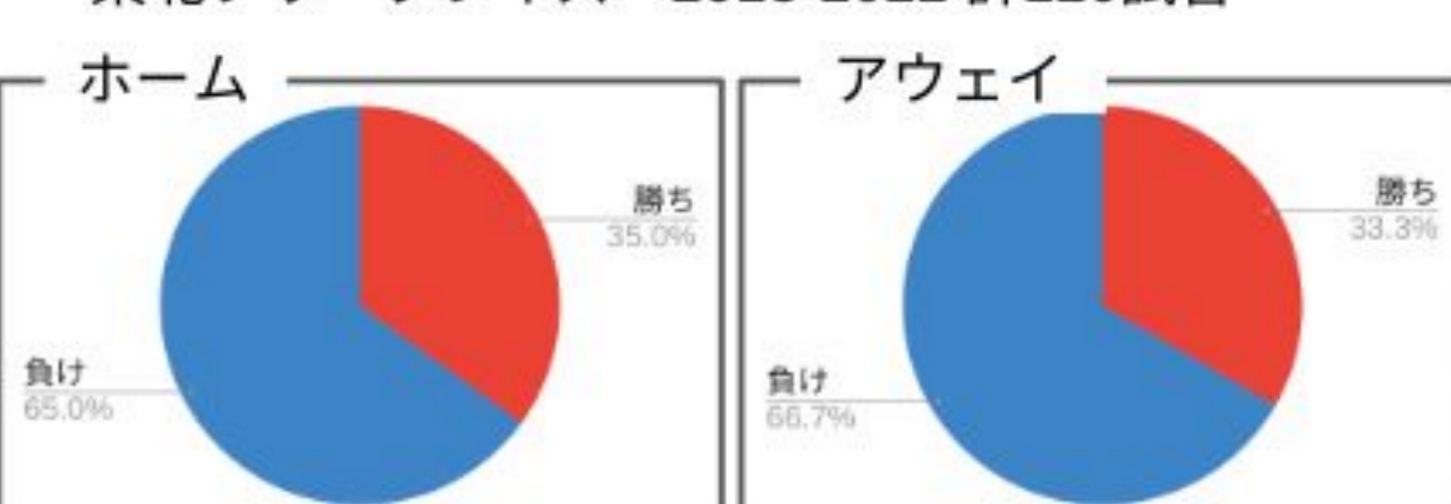
・横浜GRITS 2020-2022 計44試合



・H.C.栃木日光アイスバックス 2018-2022 計116試合



・東北フリーブレイズ 2018-2022 計120試合



出典

- <https://sportsnavi.ht-kyodo-j.jp/basketball/stats/bleague/teams/schedule/702/> (レバンガ北海道公式 試合予定・試合結果)
- <https://bc-corals.com/schedule/> (横浜ビー・コルセアーズ 試合結果)
- <https://www.bleague.jp/club/detail/?TeamID=721> (広島ドラゴンフライズ 公式サイト)
- <https://www.bleague.jp/club/detail/?TeamID=701> (琉球ゴールデンキングス 公式サイト)
- <https://www.consadole-sapporo.jp/> (コンサドーレ札幌 公式サイト)
- <https://www.f-marinos.com/results/index/> (横浜F・マリノス 公式サイト)
- <https://www.sanfrecce.co.jp/> (サンフレッチェ広島 オフィシャルサイト)
- <https://fcryukyu.com/> (FC琉球 公式サイト)

- <https://vleas.co.jp/> (ヴォレアス北海道 公式サイト)
- <https://www.hi.co.jp/sports/thunders/index.html> (Jリーグサンフレッチェ広島 公式サイト)
- <https://tokyo-greatbears.com/> (東京グレートベアーズ 公式サイト)
- <https://www.suntory.co.jp/culture-sports/sunbirds/> (サントリーサンバーズ 公式サイト)
- <https://grits-team.com/> (横浜GRITS 公式サイト)
- <https://freebrays.jp/> (東北フリーブレイズ 公式サイト)
- <https://www.icebucks.jp/> (H.C.栃木日光アイスバックス 公式サイト)